# 経尿道的膀胱腫瘍切除術クリニカルパス

氏名 _____ 様

| 病日 | 入院日 | 手術日 | 1病日 | 2病日(退院日) |
|---|---|---|---|---|
| 日付 | ／ | ／ | ／ | ／ |
| 観察 | 入院時・夕方検温します | 手術前・手術後は6時間毎に検温します | 1日2回検温します | |
| | 尿の量・尿の色をみます | ☆手術後、以下のことを観察します☆<br>下肢の感覚が戻っているか、尿の量(6時間毎)、イキミ症状<br>お尻の圧迫で赤くなってないか、排尿用の管がしっかり<br>固定されているか・管の脇から尿が漏れないか、尿の量・ 色 をみます | ☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します☆<br>排尿間隔(何時間おきに尿がでているか)<br>残尿感(尿の残った感じ) | |
| 安静 | 特に制限はありません | 手術後はベッドの上で安静になります<br>寝返りはうてますが、ベッドの横に降りたり<br>起きあがったりはできません | 回診後より歩行できます<br>排尿用の管からの出血の状態により、歩行が制限されることもあります | |
| 食事 | 普通食がでます<br>午前手術の方は<br>夜9時以降飲食できません<br>午後手術の方は<br>夜9時以降食事のみできません | 午後手術の方は、朝8時まで水分がとれます<br>手術4時間後、看護師がお腹の動きを確認し問題無ければ水分・食事がとれます | 普通食がでます<br>食事の制限は特にありません<br>1日1000mL以上の水分を飲むようにしましょう | |
| 清潔 | 入浴できます | | シャワーを浴びることができます<br>排尿用の管が抜けたら入浴ができます | |
| 排泄 | | 手術後は排尿用の管が入ります<br>ベッド上安静のため、排便はベッド上で行ないます | 排尿用の管が抜けたらトイレで尿を測るようお願いします。<br>安静解除後は排便はトイレでできます | |
| 診察 | | 医師の回診が8時頃よりあります。ベッドで休んでお待ちください | | |
| 処置 | 寝る前に下剤を飲みます | 手術前に浣腸をします | 回診時排尿用の管を抜きます(1病日または2病日) | |
| 検査 | 尿検査があります | | 朝　採血があります | |
| 薬物療法 | 今まで飲んでいた薬は<br>薬剤師に渡してください | 持参した薬は種類によって飲むものもあります<br>回診時に針を刺し、点滴を入れます<br>点滴は翌日まで持続で入ります<br>手術中に抗生剤の点滴を行います<br>痛みやイキミの症状があれば点滴や坐薬を使用します | 点滴が1日2本あります<br>**抗がん剤膀胱内注入を行います**<br>(医師の判断で見合わせる場合あり) | |
| 説明 | 入院生活について説明します<br>手術について説明し、同意書のサインを確認します<br>排尿用の管について説明します | | 尿量の測定方法について説明します | 退院後の生活について説明します<br>退院時に次回外来の予約券をお渡しします |
| 指導 | 入院治療計画書をお渡しします | | | |
| 目標 | ・手術や入院中の予定がわかる | ・術後の安静が守れ、術後出血が増強しない<br>・術後の痛みのコントロールができる | ・術後、歩行できる<br>・術後出血が増強しない<br>・排尿用の管が抜けた後自然排尿がある<br>・尿量の測定方法がわかる | ・排尿パターンが安定し、退院後の生活がわかる |

2000年6月作成 (2026年4月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院 A4病棟